

## 心理的な安全性確保

### 大成ロテック技研

### 職員対象に講習会

大成ロテック技術研究所は10日、教育学博士で選択理論心理士の星野優美子氏を講師に迎え、研究員の想像力を高めるための講習を実施した。写真。コロナ禍にある現状のような急激に変化する環境下でも心理的安全性を確保する方法を学ぶことで、いままで以上に職員一人ひとりの生産性を高め、よりクリエイティブな発想ができるようにすることを目的として、32人が参加した。

講習会では、「心理的安全性を高めることで、年齢を問わず生産性と独創性が向上する」というこれまでの研究成果を踏まえ、実績紹介とともにその具体的方法をわかりやすく紹介した。また、独創性を認識できる遊びなどを組み込んだ聴講者参加型の講義とすることで、聴講した研究員が「大人の学び」における集中力を高める工夫を体験できるようにした。

冒頭、島崎勝技術研究所長は「これからのニューノーマルは、良好な人間関係と信頼できる感染対策の両立によって本当の心理的安全性が確保できる。よりクリエイティブな発想ができるよう、今後も心理的安全性を高めていきたい」とあいさつした。

講義会場は新型コロナウイルス感染防止に向けた安全性を高めるため、参加者全員の手のアルコール消毒とマスク着用、会場の換気を徹底した。加えて、収容人数を会場の研修センター会議室は3分の1以下、別途設けた聴講用のリモート会場も2分の1以下とすることで、「3密」の回避に留意した。

